

訂正版

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 >

【放射性Cs以外の核種が検出された魚介類の測定結果】

(データ集約: 3/7)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq / kg (生)) (半減期)		
			Ag - 110m (約250日)	Sr - 90* (約29年)	参考 (Cs-134とCs-137 の合計)
ヒラツメガニ(全体)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成25年10月11日	8.2	-	10.2
ババガレイ(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成25年12月13日	ND(5.6)	1.3	253
クロソイ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	<u>平成25年12月2日</u>	ND(7.5)	1.1	400
ドチザメ(筋肉)	2F敷地沖合2km付近(T-S7)	<u>平成25年11月25日</u>	ND(6.6)	0.24	1070
マコガレイ(筋肉)	2F敷地沖合2km付近(T-S7)	<u>平成25年12月2日</u>	ND(4.4)	0.56	322
ヒラツメガニ(全体)	熊川沖合4km付近(T-S8)	<u>平成25年11月9日</u>	4.9	-	ND
カスザメ(筋肉)	熊川沖合4km付近(T-S8)	<u>平成25年12月9日</u>	ND(6.4)	0.20	279

「-」は測定対象外。

NDは検出限界値未満を表し、Ag-110m、Sr-90については( )内に検出限界値を示す。参考値(Cs-134とCs-137の合計)の検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約3.3Bq/kg(生)、Cs-137が約4.4Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計: 100Bq/kg。

Ag-110m分析は東京パワーテクノロジー株式会社にて実施。Sr-90分析は株式会社環境総合テクノスにて実施。

\* 魚全体で測定

下線部について訂正(訂正前;平成26年 訂正後;平成25年)